

2019年1月12日
第24期健康・スポーツ科学分科会
資料（来田）

シンポジウム「博物館とのつながりがもたらすスポーツ文化の未来」 に関連する提言案について

1. 提言作成の背景

第24期分科会では「スポーツに関わる史料・文化財・多様な情報の保護・管理に関する検討」WGを設置

表題シンポジウムはこのWGでの検討内容に関連する

シンポジウムにおける議論の成果をWGでの検討内容にも反映させたい

2. 背景

- ICTの発達に伴い、従来とは情報収集や情報共有の方法が変化している
- これまでスポーツに関わる史料・文化財の収集・管理・利活用に関する政策は日本には存在しない。海外では、国立のスポーツ博物館を設置するなどし、スポーツに関する文化的理解を深め、後世に伝承するための組織的対応を行っている
- 研究・教育等の利活用についても十分検討されていない
- 自然科学系領域において副次的に生成される生体情報、パフォーマンスに関連するスポーツ・データ等（以下、スポーツ科学の副次的情報と仮称）を集約し、適切に管理する方法、二次的に利活用する方策についても、ほとんど検討されていない
- そもそも、スポーツ関連の「情報」を体系づけることも検討されてこなかった

3. 提言提出の社会的要請

上記の背景を踏まえ、学術的な取り組みや政策策定に向けた提言を本分科会が提出する社会的要請は高まっていると考えられる。

4. 提言のプロット案

1. はじめに

2. スポーツ文化財・スポーツ科学の副次的情報の保護・管理の現状と問題点

1) 保護・管理の対象とすべき「スポーツの文化財」の現状と問題点

- ① スポーツ文化財の種類と体系化
- ② スポーツ文化財の管理と問題点
- ③ スポーツ博物館等関連組織・施設の現状と問題点

2) 保護・管理の対象とすべき「スポーツ科学の副次的情報」の現状と問題点

- ①スポーツ科学の副次的情報の射程
生体情報、講堂情報、安全・安心に関連する情報…
- ②スポーツ科学の副次的情報の管理と問題点

3. スポーツ文化財・スポーツ科学の副次的情報の利活用と可能性

1) スポーツ文化財の利活用と可能性

- ①研究
- ②教育
- ③共有と継承による波及効果

2) スポーツ科学の副次的情報

- ①研究
- ②モデル的活用シーン
- ③共有と継承による波及効果

4. 関連する政策の検討

- ・文化財保護・管理に関連する政策
→スポーツ文化財独自に検討すべき課題
- ・個人情報保護、人を対象とする研究倫理等の方針
→スポーツ科学独自に検討すべき課題

5. 提言